

株主および投資家のみなさまへ

中間事業報告書

第142期上半期

平成16年4月1日～平成16年9月30日

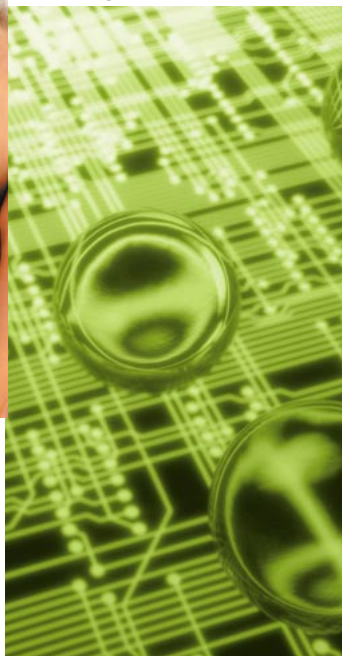
for Environment



for Biotechnology



for IT Devices



ごあいさつ



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
ここに第142期上半期(平成16年4月1日から平成16年9月30日まで)の中間事業報告書をお届けいたしますので、よろしくご高覧賜わりますようお願い申し上げます。

平成16年12月

取締役社長

服部重彦

営業の概況

当上半期の業績

当上半期のわが国経済は、製造業を中心とする民間設備投資が増加し、個人消費も緩やかに回復してまいりました。また、中国を中心とするアジア経済の景気拡大に伴う輸出の増加もあり、素材価格の上昇など懸念材料はあるものの、景気は回復基調で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは研究開発分野や環境規制に対応した新製品の拡販に注力いたしました。

この結果、当上半期の売上高は連結1,110億7千万円(前年同期比10%増)、単独763億6千万円(同9%増)となり、受注高は連結1,133億6百万円(同8%増)、単独783億8千1百万円(同8%増)となりました。

損益面につきましては、経常利益は連結76億2千5百万円(前年同期比117%増)、単独44億2千8百万円(同133%増)となり、中間純利益は連結59億1百万円(同282%増)、単独26億5千3百万円(同194%増)となりました。

当期の中間配当金につきましては、1株につき2円50銭とさせていただきます。

今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内景気は輸出と設備投資を中心に民需主導で回復傾向を維持しているものの、一方で原油・素材価格の上昇や米国、中国など海外景気の減速が懸念される状況にあります。

このような経営環境のもとで、当社グループは、固定費および変動費の削減を徹底し、損益分岐点の引き下げに注力し、引き続きトータルリードタイムの短縮による製造コストの削減などコスト構造改革と効率的な営業体制の構築を進め、収益性の向上と体質の強化を図ります。

事業面では、引き続き「選択と集中」による既存事業(計測／医用／航空・産業機器)の主力機種におけるグローバル競争力の強化と3つの新事業(ライフサイエンス、環境ソリューション、半導体・フラットパネルディスプレイ)の推進により、また、市場面では、グローバル戦略の要である北米および成長市場である中国における販売網の強化や新製品の投入により、売上の拡大を図ります。

株主の皆様には、今後とも引き続きご支援を賜わりますようお願い申し上げます。

会社概要

■ 会社概要 (平成16年9月30日現在)

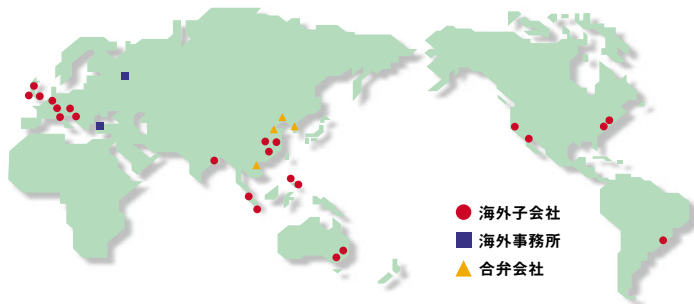
商号	株式会社島津製作所 SHIMADZU CORPORATION
創業	明治8年(1875年)3月
設立	大正6年(1917年)9月
本社所在地	〒604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町1番地 電話075-823-1111(代表)
資本金	16,824,925,349円
発行済株式総数	267,090,952株
株主数	41,668名
従業員数	単独 3,109名 連結 8,167名
連結子会社	国内32社 海外31社

■ 主要な事業所

本社	京都市中京区西ノ京桑原町1番地
支社	東京/関西(大阪市)
支店	京都/九州(福岡市)/名古屋/横浜/ 北関東(さいたま市)/神戸/つくば/広島/ 東北(仙台市)/札幌/四国(高松市)(平成16年10月1日付)
営業所	岡山/長崎/静岡/郡山
海外事務所	中近東(イスタンブール)/モスクワ
工場	三条/紫野(いずれも京都市)/厚木(厚木市)/ 秦野(秦野市)/瀬田(大津市)
研究所	基盤技術研究所(京都府精華町/東京都) 田中耕一記念質量分析研究所(京都市)

■ 海外拠点

アメリカ/ドイツ/オーストリア/イタリア/イギリス/スイス/
ボスニア・ヘルツェゴビナ/シンガポール/フィリピン/
オーストラリア/インドネシア/インド/中国/韓国/
ベトナム/トルコ/ロシア/ブラジル



■ 株主メモ

- 決算期
3月31日
- 利益配当金受領株主確定日
3月31日
- 中間配当金受領株主確定日
9月30日
- 定時株主総会
毎年6月(議決権行使株主確定日 3月31日)
- その他の基準日
上記の他必要と認めるときは、公告のうえ
設定します。

- 公告掲載新聞
日本経済新聞・京都新聞
なお、日本経済新聞および京都新聞に掲載する
決算公告に代えて、貸借対照表および損益
計算書を開示する当社ホームページアドレスは
<http://www.shimadzu.co.jp>であります。

- 名義書換代理人
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱信託銀行株式会社

- 同事務取扱場所
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱信託銀行株式会社 証券代行部
- 同取次所
三菱信託銀行株式会社 全国各支店
- 連絡先
〒171-8508
東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
三菱信託銀行株式会社 証券代行部
電話0120-707-696(フリーダイヤル)
- ウェブサイト
<http://www.mitsubishi-trust.co.jp/kojin/daikou/daik01.html>

事業の概要

計測機器事業

当上半期連結売上高619億8千8百万円

【概況】

国内市場は、民間設備投資の回復による需要拡大に加え、水道法改正やEUでの有害化学物質規制など環境・安全規制強化関連の需要が引き続き堅調で、クロマトグラフ、質量分析計、全有機体炭素計、蛍光X線分析装置などが好調に推移しました。また、X線非破壊検査機器や材料試験機も、民間設備投資の回復に伴い堅調な動きとなりました。海外市場につきましては、中国を中心に増加しました。

こうした状況のなかで、提案型の営業や新製品開発に注力し、成長市場に向けた製品の拡販に努めました結果、売上高は619億8千8百万円(前年同期比12%増)となりました。

【今後の事業展開】

原油高の影響や国内景気の減速感など、今後、計測機器の事業環境はやや厳しさを加えるものと思われます。こうした中で、当社は事業の「選択と集中」を進めて高速液体クロマトグラフなどの戦略機種強化を図ると同時に生産コストの低減を進め、収益の一層の増大を図って行きます。

海外市場においては、好調が継続する中国での事業展開を引き続き強化します。

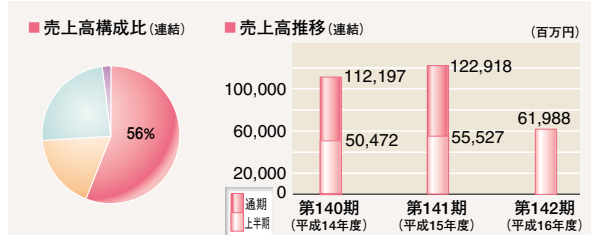
またシェアアップ策を進めている米国でも、引き続き販売・サービスのネットワーク拡充を中心に拡販を図ります。



高速液体クロマトグラフ

主な製品

ガスクロマトグラフ、液体クロマトグラフ、質量分析計、光分析装置、表面分析装置、タンパク質解析装置、環境測定機器、材料試験機、X線非破壊検査機器、光学デバイス、レーザー素子



第140期および第141期につきましては、新しいセグメントの基準により表示しています。

【「分析展」出品について】

分析計測機器の国内最大の展示会「分析展」(幕張メッセにて9月1日から3日まで開催)に、当社は出展企業中最大のスペースで新製品10機種を中心に出品しました。昨年比約30%増の多数の来場者を得て、大変な盛況となりました。

出品品中有力な新製品の新型高速液体クロマトグラフは、本格的なWebコントロール機能を持ち、大規模な分析が行われるバイオ・医薬品の分野での需要が期待されます。また、小型・低価格化を実現した新型ガスクロマトグラフは、幅広い分野での安定した需要を見込んでいます。

これら求められる性能・機能をいち早く商品化した新製品を国内外の市場に供給し事業の拡充を図って行きます。



「分析展」で盛況な当社ブース

その他の事業

当上半期連結売上高24億5千万円

当期から新たな事業セグメント「その他の事業」を設けました。これは工場跡地のショッピングセンターなどの賃貸料が増加することによるものです。また、これまで既存の事業セグメントに計上していたソフトウェア開発・設計・建設・広告宣伝・物流などの子会社の事業も当期からは「その他の事業」に計上しています。なお、新しいセグメントの基準での「その他の事業」の売上高は、第140期上半期17億4千3百万円、同通期34億1千6百万円、第141期上半期22億6百万円、同通期42億9千9百万円です。

【主な事業】

不動産賃貸、不動産管理、ソフトウェア開発、製品設計、建設舗床業

医用機器事業

当上半期連結売上高205億1千9百万円

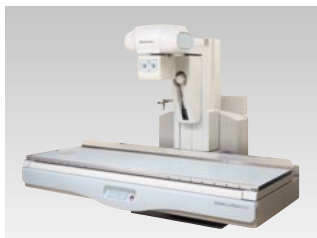
【概況】

国内市場は、医療機関の設備投資抑制による需要の低迷や内外メーカの競合激化による価格低下など厳しい事業環境が続くなか、早期ガン検診に適したPET（陽電子放射断層撮影装置）、FPD（フラットパネルディテクタ）搭載の循環器X線検査システムなどが好調に推移しました。一方、海外市場につきましては、低調でありました。

こうした状況のなかで、PET（P.9「PETについて」ご参照）等成長市場に向けた新製品の拡販に努めました結果、売上高は205億1千9百万円（前年同期比6%増）となりました。

【今後の事業展開】

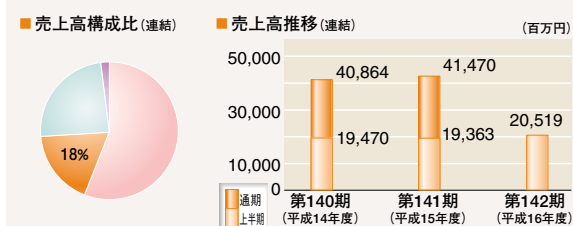
上半期に引き続き、国内市場の拡大が見込めるPET、さらに当社のコア技術であるX線を発展させたFPD搭載X線撮影装置の拡販を加速します。特に後者は、現行の循環器撮影用（9インチFPD搭載）装置に加えて、より大きな部位の検査が可能な胸部用撮影装置や消化器検査用装置（17インチFPD搭載）を発売します。



Sonialvision（17インチFPD搭載）

主な製品

X線診断システム、CTスキャナ、PET、超音波診断システム、医療情報システム



第140期および第141期につきましては、新しいセグメントの基準により表示しています。

航空・産業機器事業

当上半期連結売上高261億1千1百万円

【概況】

航空機器は、防衛予算の抑制や民間航空機需要の低迷など厳しい事業環境が続くなか、補用部品を中心に需要喚起に努めましたものの、国内市場、海外市場ともに低調に推移しました。

産業機器は、半導体・IT関連設備投資の増加に伴い、半導体製造装置向けターボ分子ポンプ、液晶パネルや太陽電池関連の製造・検査装置などの需要が拡大し、また、産業車両や建設機械向け小型ギアポンプなど油圧機器（p.10「油圧機器事業について」ご参照）も好調に推移しました。海外市場につきましては、中国を中心に産業機器の需要が増加しました。

この結果、売上高は261億1千1百万円（前年同期比11%増）となりました。

【今後の事業展開】

航空機器は国内向け・海外向けともに厳しい事業環境が続くと思われませんが、防衛庁向け新型航空機2機種の搭載機器開発を着実に進めて行きます。

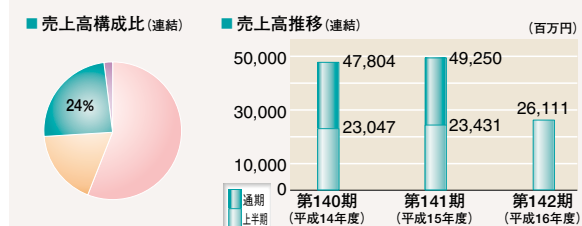
産業機器は半導体・液晶パネルの生産調整局面が懸念されますが、半導体・液晶パネルメーカの設備投資意欲は高いことから、半導体製造装置等に搭載されるターボ分子ポンプの好調が持続する見込みです。



ターボ分子ポンプ

主な製品

航空機器：ヘッドアップディスプレイ、空調システム、飛行制御システム、ロケット用バルブ、航空機器機能試験装置
産業機器：ターボ分子ポンプ、TFTアレイ検査装置、プラズマCVD装置、油圧機器



第140期および第141期につきましては、新しいセグメントの基準により表示しています。

連結決算の概要

連結貸借対照表

(百万円)

	当上半期末 (平成16年9月30日)	前期末 (平成16年3月31日)
資産の部		
流動資産	162,303	168,496
現金預金	25,667	32,079
①受取手形・売掛金	72,775	78,091
①たな卸資産	55,539	51,865
その他	9,633	7,921
貸倒引当金	△1,311	△1,461
固定資産	87,658	87,902
有形固定資産	(57,548)	(58,037)
建物・構築物	28,432	28,870
機械・運搬具	4,178	4,347
土地	18,910	19,367
その他	6,027	5,452
無形固定資産	(1,636)	(1,631)
投資その他の資産	(28,473)	(28,233)
投資有価証券	8,854	9,291
長期貸付金	2,162	2,241
その他	18,836	18,082
貸倒引当金	△1,379	△1,381
資産合計	249,962	256,398

負債の部

	当上半期末 (平成16年9月30日)	前期末 (平成16年3月31日)
流動負債	103,940	108,694
支払手形・買掛金	43,289	46,806
②短期借入金	14,767	14,973
②1年内償還予定社債	20,000	20,000
その他	25,884	26,913
固定負債	55,088	61,728
②社債	25,000	35,000
②長期借入金	6,747	7,203
退職給付引当金	18,505	17,999
役員退職慰労金引当金	507	461
その他	4,327	1,064
負債合計	159,028	170,422
少数株主持分	303	300
資本の部		
資本金	16,824	16,824
資本剰余金	25,393	25,393
利益剰余金	51,141	46,055
その他有価証券評価差額金	2,087	2,286
為替換算調整勘定	△4,659	△4,751
自己株式	△157	△132
資本合計	90,630	85,676
負債・少数株主持分・資本合計	249,962	256,398

連結損益計算書

(百万円)

	当上半期 (平成16年4月1日～ 平成16年9月30日)	前上半期 (平成15年4月1日～ 平成15年9月30日)
③売上高	111,070	100,529
売上原価	67,402	61,875
販売費・一般管理費	34,114	32,633
③営業利益	9,553	6,020
営業外収益	739	728
営業外費用	2,666	3,240
③経常利益	7,625	3,507
特別利益	52	215
特別損失	921	641
税金等調整前中間純利益	6,757	3,081
法人税・住民税・事業税	3,661	1,231
法人税等調整額	△2,824	284
少数株主利益	18	19
③中間純利益	5,901	1,544

ポイント ①

売上債権を約53億円圧縮

売上債権の圧縮により受取手形・売掛金が約53億円減少しました。また、受注が堅調であるため、たな卸資産が約37億円増加しました。

ポイント ②

有利子負債の圧縮を促進

有利子負債の圧縮を促進しており、社債が100億円減少しました。その結果、借入金依存度は3%改善し、27%となりました。

ポイント ③

中間期の過去最高を記録

連結売上高は前年同期に比べ10%増加し、中間期で過去最高となりました。また、営業利益、経常利益、中間純利益とも過去最高となりました。

連結剰余金計算書

(百万円)

	当上半期 (平成16年4月1日～ 平成16年9月30日)	前上半期 (平成15年4月1日～ 平成15年9月30日)
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	25,393	25,393
資本剰余金中間期末残高	25,393	25,393
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	46,055	41,586
利益剰余金増加高	5,901	1,544
利益剰余金減少高	815	776
利益剰余金中間期末残高	51,141	42,355

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	当上半期 (平成16年4月1日～ 平成16年9月30日)	前上半期 (平成15年4月1日～ 平成15年9月30日)
④ 営業活動によるキャッシュ・フロー	7,289	2,837
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,517	△1,969
④ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,132	△1,449
現金及び現金同等物に係る換算差額	39	70
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△6,321	△510
現金及び現金同等物の期首残高	31,179	32,761
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△569
現金及び現金同等物の中間期末残高	24,857	31,680

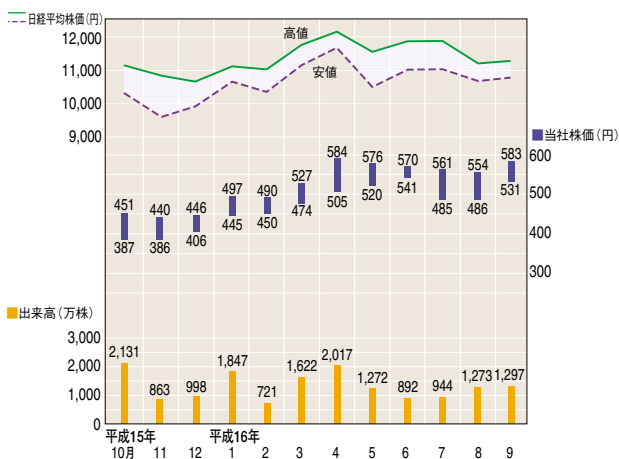
ポイント④

営業活動によるキャッシュ・フローが約73億円のプラス

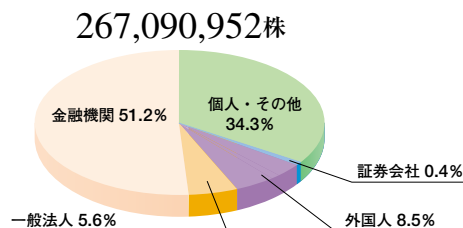
営業キャッシュ・フローは利益増等により約73億円のプラスとなりました。社債償還資金(純額100億円)については、主に手持ち現金等の内部資金で償還しました。

株式の状況

株価の推移(東京証券取引所)



株式の所有者別分布(平成16年9月30日現在)



大株主(平成16年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)
明治安田生命保険相互会社	21,130
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	19,512
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	13,886
日本生命保険相互会社	8,668
東京海上火災保険株式会社(※)	8,237
太陽生命保険株式会社	7,412
株式会社東京三菱銀行	7,099
第一生命保険相互会社	5,866
株式会社京都銀行	4,922
バンクオブニューヨーク・フォー・ゴールドマン・サックス・インターナショナル(イクイティ)	4,679

※東京海上火災保険株式会社は、平成16年10月1日付で、日動火災海上保険株式会社と合併して東京海上日動火災保険株式会社となっております。

単独決算の概要

貸借対照表

(百万円)

	当上半期末 (平成16年9月30日)	前期末 (平成16年3月31日)
資産の部		
流動資産	108,944	114,563
現金預金	7,490	13,764
受取手形	19,921	19,213
売掛金	38,699	40,903
たな卸資産	37,139	34,857
その他	6,528	6,721
貸倒引当金	△836	△897
固定資産	94,025	94,594
有形固定資産	(51,058)	(51,734)
建物・構築物	25,329	25,679
機械・器具等	6,869	7,035
土地	18,147	18,615
その他	711	403
無形固定資産	(1,246)	(1,230)
投資その他の資産	(41,719)	(41,629)
投資有価証券	8,381	8,747
子会社株式・出資金	15,696	15,692
長期貸付金	2,324	2,411
その他	17,190	16,710
貸倒引当金	△1,874	△1,934
資産合計	202,969	209,158

負債の部

	当上半期末 (平成16年9月30日)	前期末 (平成16年3月31日)
流動負債	74,857	75,938
支払手形	9,370	10,934
買掛金	23,168	23,740
短期借入金	3,654	2,383
1年内償還予定社債	20,000	20,000
未払金	10,753	13,874
その他	7,910	5,005
固定負債	48,785	55,556
社債	25,000	35,000
長期借入金	5,242	5,336
退職給付引当金	13,948	13,923
役員退職慰労金引当金	462	410
その他	4,132	885
負債合計	123,643	131,494
資本の部		
資本金	16,824	16,824
資本剰余金	25,393	25,393
利益剰余金	35,194	33,315
株式等評価差額金	2,070	2,262
自己株式	△157	△132
資本合計	79,325	77,663
負債・資本合計	202,969	209,158

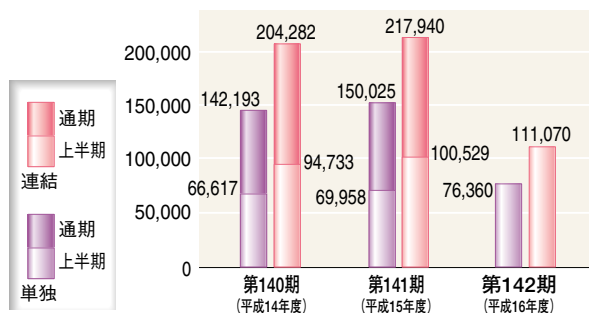
損益計算書

(百万円)

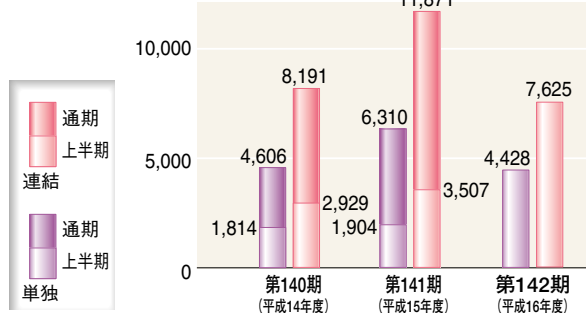
	当上半期 (平成16年4月1日～ 平成16年9月30日)	前上半期 (平成15年4月1日～ 平成15年9月30日)
売上高	76,360	69,958
売上原価	51,283	47,559
販売費・一般管理費	19,991	19,264
営業利益	5,085	3,133
営業外収益	1,669	1,602
営業外費用	2,327	2,832
経常利益	4,428	1,904
特別利益	43	215
特別損失	547	675
税引前中間純利益	3,923	1,443
法人税・住民税・事業税	2,182	55
法人税等調整額	△912	484
中間純利益	2,653	903
前期繰越利益	3,549	2,281
中間未処分利益	6,203	3,185

業績の推移

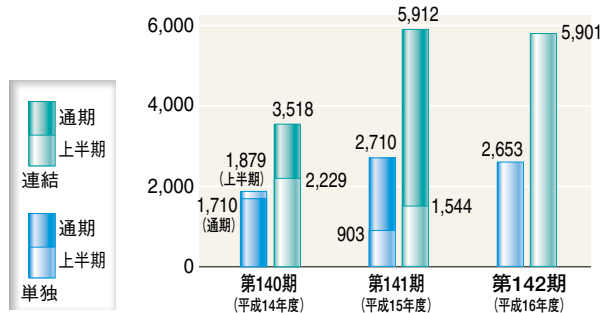
■ 売上高 (百万円)



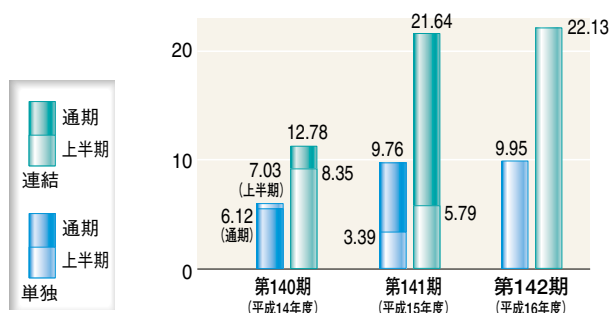
■ 経常利益 (百万円)



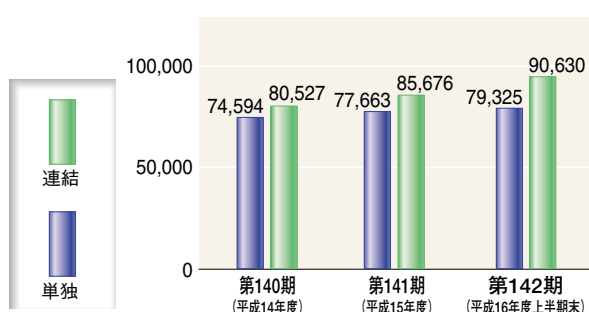
■ 当期純利益 (百万円)



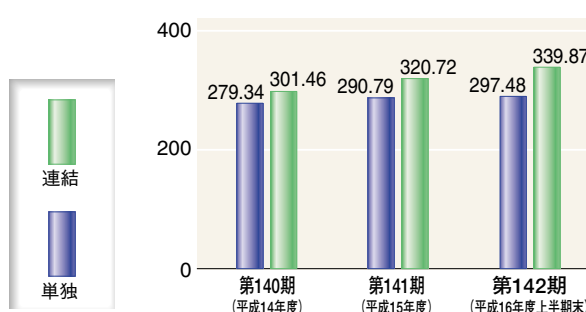
■ 1株当たりの当期純利益 (円)



■ 株主資本 (百万円)

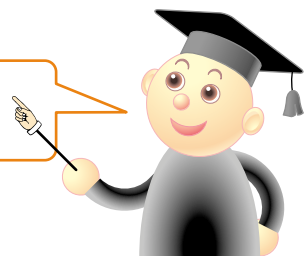


■ 1株当たりの株主資本 (円)



TOPIX 1

PETについてお話しします



Q1

今話題になっているPETとは
どういう装置ですか？



A1

PET装置とは、心臓や脳などの動きを断層画像（輪切りの断層と縦切りの断層があります）としてとらえ、病気の原因や病状的確な診断を可能にする装置です。

PET検査では、陽電子（ポジトロン）を放出するくすりを、静脈から注射したり、呼吸により体内に吸収させたあと、くすりが心臓や脳などからだのいろいろなところに集まる様子を、からだの外からPET装置で撮影します。

PET検査によるガン検診の場合、くすりが正常細胞よりガン細胞に多く集まる性質を利用してその様子を撮影するので、他の検査方法では発見が難しい1センチ程度の微小なガンも、PET検査なら早期発見が可能とされています。



PET（陽電子放射断層撮影装置）

Q2

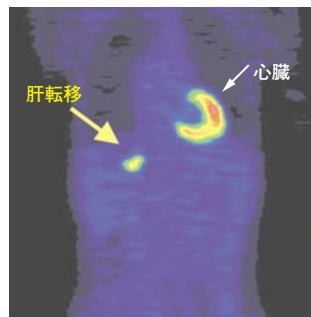
今なぜPETの導入が
進んでいるのでしょうか？



A2

もともとPETは、国内ではこれまで大学等の研究機関で主として脳や心臓の機能などの研究目的で使用されていました。そのため、市場規模も年間約10億円程度で推移していました。

ところが、数年前から、ガンの撲滅が日本の医療政策として大きく取り上げられ、FDG（フルオロ・デオキシ・グルコース）薬剤によるガン検診はその有用性が認められるようになりました。これを受けて、各地でPET検診センターの建設が始まり、PETの市場が広がりました。現在その市場規模は、100億円以上に拡大しています。



PET診断画像：胸腹部
肝臓にFDGの取り込みが見られ、肝ガン（再発）が疑われます。なお、心臓への取り込みは生理的なもの（正常集積）です。
〔データご提供：群馬大学医学部附属病院〕

Q3

島津のPETの特長と強みを聞かせてください



A3

当社は、今年、大規模病院や専門医療機関での研究向けの「Eminence-G」、および検診向けの「Eminence-B」の2種類の新型PETを相次いで発売しました。

その主な特長は次のとおりです。

①世界最高の空間分解能 (Eminence-G)

新型検出器の採用により、全身用PETとしては世界最高の空間分解能を実現しています。これによって、より小さなガンの早期発見が期待できます。

②高感度・高スループット

検出器の感度を高めたことによって、より少ない薬剤投与で従来と同等の高分解能な画像を得ることができます。

さらに、新しい発想による当社独自の新機能を搭載することにより、従来のPETでは2回必要となるデータ収集を同時に実行することに成功しました。これによって、従来は30分程度かかった撮影時間が約半分に短縮され、患者さんの負担を軽減できます。

また、医療機関としても、より多くの検査を行うことによって検査効率が上がり、PET装置を有効に使えます。

③維持費の低減

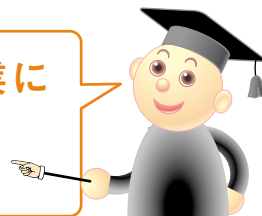
患者さん毎の異なる体形を補正するために使用する放射線の線源は従来1年に1回程度の交換が必要でしたが、他の物質を使用したことで線源の交換がほぼ不要となり、維持費を大幅に低減させることができます。

当社は、約25年のPET開発の歴史を有する国内唯一の臨床用PETメーカーとしての技術力を生かした新型PETの投入により、国内シェアの一層の拡大を図ってまいります。



TOPIX
2

油圧機器事業についてお話しします



Q

好調な油圧機器事業について教えてください



A

①当社の油圧機器事業の概要

当社の油圧機器事業では、油圧ギアポンプを中心に、パワーパッケージ、コントロールバルブ等を製造・販売し、産業車両（フォークリフト等）や建設機械（ミニショベル等）、自動車・特装車（ゲート車両、福祉車両、トラッククレーン）、農業機械（トラクタ等）の各メーカーに供給しています。

特に、フォークリフトに搭載されているギアポンプやコントロールバルブは、その優れた品質やコストによって、供給先の各メーカーから高く評価されています。

②油圧機器事業好調の理由

前述の主要な4需要分野向けに販売ターゲットを絞りシェアを拡大したことや、油圧機器業界全体の好景気が重なったことが主な理由です。

また、最近の中国での工場建設ラッシュに伴ってフォークリフトの需要が急速に高まっていることもあり、中国の合弁子会社・天津島津液圧有限公司の生産量も増加しています。

これらの油圧機器需要に対応した結果、当社の当上半期における油圧ギアポンプの売上は、前年同期比38%増と好調であり、今後も各メーカーの旺盛かつ多様なニーズに応えて、事業の拡大を目指します。



当社の油圧ギアポンプ（枠内）を搭載したフォークリフト

株主インフォメーション

配当金は早めにお受け取りください

郵便振替支払通知書による配当金のお受け取り期間は平成17年1月11日(火)までとなっております。郵便振替支払通知書をお持ちになって、お近くの郵便局でお早めにお受け取りください。

お受け取り期間を過ぎたら？

お受け取り期間を過ぎますと、郵便局でのお受け取りができなくなります。郵便振替支払通知書の裏面にお受け取り方法をご指定のうえ、三菱信託銀行証券代行部までご連絡ください。

郵便振替支払通知書を紛失された場合は？

三菱信託銀行証券代行部までご連絡ください。なお、未払いの確認とお支払いの手続きのため、お受け取りまで多少日数を必要としますので、あらかじめご了承ください。

銀行振込指定の おすすめ

郵便振替支払通知書による配当金のお受け取りは、忘れやすいものです。安心・確実な銀行振込によるお受け取り方法をお勧めいたします。詳しくは三菱信託銀行証券代行部までお問い合わせください。

連絡先：三菱信託銀行 証券代行部

〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 電話0120-707-696(フリーダイヤル)

なお、住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求、および株式の相続手続に必要な用紙のご請求は、0120-86-4490(フリーダイヤル)で24時間受付しております。

島津創業記念資料館のご案内

昭和50年、創業100周年記念事業の一環として日本の科学技術研究の一助になればとの願から、当社創業の地、京都木屋町二条に開設。国産最古の顕微鏡をはじめ、創業当時の理化学機器や初期の医用X線装置を中心に、文献・資料など約600点を展示、一般公開しています。

- 休館日 / 水曜日・年末年始
- 入館時間 / 9:30～16:30(閉館17:00)
- 入館料 / 大人300円 高・中学生200円
団体割引(20名以上20%引)



島津創業記念資料館(国の登録有形文化財)

建物は、創業当時のままの姿を残しています。

- 市バス 市役所前下車徒歩約2分 ●京阪電車 三条下車徒歩約7分
- 地下鉄東西線 市役所前下車徒歩約2分
- 京都駅からのアクセス 市バス:205(四条河原町方面)、17系統乗車
タクシー:約20分

〒604-0921 京都市中京区木屋町二条南

- TEL/075-255-0980 ●FAX/075-255-0985
- <http://www.shimadzu.co.jp/forest/index.html>



キリリ

島津創業記念資料館

株主様無料入館券

本券1枚につき3名様まで無料で入館いただけます。
(2005年9月末まで有効)



<http://www.shimadzu.co.jp>

●再生紙を使用しています。

DP050-0142A
0220-10401-42B-NS